

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年8月19日

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                                       |           |  |
|---------|---------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号   | 3470103650                            |           |  |
| 法人名     | 社会福祉法人 広島常光福祉会                        |           |  |
| 事業所名    | グループホームげんき馬木                          |           |  |
| 所在地     | 広島市東区馬木4丁目2122-1<br>(電話) 082-883-0238 |           |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年7月15日                             | 評価結果市町受理日 |  |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103650-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103650-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地   | 広島市南区皆実町一丁目6-29      |
| 訪問調査日 | 令和3年8月12日            |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

同敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所とげんき保育園が隣接しており、日常生活や行事、職員においても幅広く世代間の交流をする事が出来ている。また、庭を広く確保し、散歩や花の水やり、野菜の収穫など、外での活動も充実している。食事やおやつは手作りの物や市販品も楽しんで頂き、畑で採れた野菜も献立に取り入れている。

毎月第3金曜日13時半より「寺子屋げんき」と称して、運営推進会議（奇数月）・介護者教室（偶数月）を開催しており、利用者、家族、地域住民、地域包括支援センター職員、民生委員等を招いている。（現在は新型コロナウイルス感染症対策として中止）

毎月の事業所内勉強会に加え、職員の要望を事前に聞き取った上で管理者が推薦し、各職員が年に1~2回は外部研修に参加出来るようにする事で、職員の知識及び技術向上により質の高いサービスが提供できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所理念の「利用者一人ひとりがその人らしく生きがいを持てる快適な生活を提供」を朝礼にて皆で確認し、勤務者一人ひとりがその日の業務目標や注意点を口頭で伝え、共有している。事業所での課題や職員のプライベートを含めた問題点は「一人で抱え込まない」を念頭に置き早期に解決するよう努めている。またこれに関しては大きな法人の利点を最大限活かし、全体で協力・調整し勤務事業所の変更等も可能であり働きやすい職場を目指している。協力体制は利用者の処遇でも発揮されており、重度化の際の協力体制や事業所に配置されていない専門職の意見を聞く等活用されている。敷地内にある他の事業所や地域の自治会ともコロナ禍でも連絡を取り合い、コロナ禍収束時にすぐに活動出来る体制の整備を行っている。

| 自己評価              | 外部評価 | 項目(グループホームげんき馬木1階)   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |  |  |   |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、朝礼で理念の復唱を行い、職員間で共有、再認識する事で実践に繋がっている。</li> <li>・法人や事業所の理念を、玄関や事務所へ掲示している。</li> <li>・個人の一日のケア目標（注意して取り組む事柄）を発表し、実践に繋がっている。</li> </ul>       | 朝礼にて理念を復唱し、勤務者個々のその日の目標や注意点を口頭で伝え共有することで、それぞれの職員の視点を意識しながら、利用者の支援に取り組んでいる。また体調不良等職員の状態も皆で伝えあい共有し、それぞれがカバー出来るようにコミュニケーションを図っている。   |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に所属し、役員を行ったり、イベント（清掃など）に参加している。</li> <li>・地域の方に事業所でのイベントを案内して参加したりしてもらっていたが、最近ではコロナの影響で自粛している。</li> </ul>                                 | 地域の自治会で役員となり活動している。コロナ禍でも事業所の活動内容の配信や定期的な挨拶は欠かさず行っており、コロナ禍による地域での人間関係の希薄化等の危機感を持ち、コロナ終息後以前と同じ付き合いが出来るように意識している。清掃活動等行える活動は参加している。 |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に地域の方にも参加してもらい、認知症についての勉強会や意見交換を行い、また、認知症サポーターの講師としても活動していたが、最近ではコロナの影響で実施出来ない。</li> </ul>   | /   | /                 |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事内容や利用状況の報告を行う等、情報の意見交換をし、その時に得た事をその後のサービス改善に活かしていたが、最近ではコロナの影響で集まれない為、意見照会をしている。</li> <li>・過去の会議での話し合いから発展し町内会（2地区）と防災協定を結んでいる。</li> </ul> | 現在コロナ禍により運営推進会議は書類上で意見交換しているが、顔を合わせて書類を渡す等行っている。会議の名前を寺子屋げんきとし、地域住民や家族が構えず参加出来るように工夫している。会議内での意見から2地区と防災協定を結んだ事例もある。              |                   |
| 5                 | 4    | ○市町との連携<br><br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議への参加を呼びかけたり、市政出前講座を活用し講師を招いて講習会を行うなどしていたが、最近ではコロナの影響で中止。</li> <li>・運営で不明な点や必要な内容があれば、市の指導係と連携を取り対応している。</li> </ul>                     | 運営推進会議を中心に市町や包括との連携を行っている。課題や問題点を事業所だけで抱え込まないことを意識し幅広く情報交換を行っている。コロナ禍が終息すれば以前のように出前講座の活用やサポーター養成講座の講師派遣等行う予定である。                  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|---|---|--|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、天気の良い日は玄関を開放している。</li> <li>・門扉は日中、常時開放している。</li> <li>・定期的な勉強会、外部研修等で正しい情報の共有を行っている。</li> </ul>   | 3カ月に1度会議を行い身体拘束について話し合いの場を設けている。利用者や家族に対しても入居の際に書面にて説明を行っている。職員に関しては定期的にアンケートをとり、吸い上げた問題点について研修や会議を行い、ケアに反映させている。            |                   |
| 7    |      | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待、拘束防止委員会を3ヶ月に1回実施し、職員間で情報を共有する事で防止に努めている。</li> <li>・定期的な勉強会を実施し、情報の共有をしている。</li> <li>・外部研修に参加している。</li> <li>・利用者への声かけや対応等が適切ではない場合には、虐待になる可能性がないか話し合い対応の改善を促す。</li> </ul> |  |                   |
| 8    |      | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会や申し送り等で情報の共有をしている。</li> <li>・必要な利用者には成年後見制度を紹介し、それに関わる担当者との連絡調整を行っている。</li> </ul>  |  |                   |
| 9    |      | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約書を基に丁寧に説明を行い、項目毎に質問や疑問点が無いか尋ね、理解して頂いているか確認するよう心がけている。</li> <li>・制度の改定時は案内を出し、不明点は問い合わせをしていただけるよう配慮している。</li> </ul>  |  |                   |
| 10   | 6    | <b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回運営推進会議を行っていたが、コロナの影響で自粛している。</li> <li>・年1回、家族会総会でのアンケートや意見交換の場を設け、面会時や4ヶ月毎のカンファレンス等、意見があれば会議等で話し合いの場を設けていたが、最近ではコロナの影響で控えており、電話連絡等で対応している。</li> </ul>                 | コロナ禍であり、介護計画等書面で郵送し電話にて説明を行っている。また、家族に対してアンケートも実施し意見を求めている。コロナ禍で面会が難しい際にSNSを活用し写真等送ってほしいとの家族からの希望に対応し、タブレットを購入する等意見を反映させている。 |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
|                             |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に提案、議題があれば月1回の職員会議で議題にして話し合い、運営や業務に反映させている。</li> <li>・大きな議題提案等については、毎月実施している法人のエリア会議の中で管理者が情報を発信している。</li> </ul> | 事業所での職員会議で出た意見を事業所長が集まるエリア会議にあげる体制が整備されており、早期解決を心がけている。ケアの質と職員の精神状態のバランスを理解しており、緩和が図れるよう管理者だけではなくリーダーも意識して取り組み、吸い上げた意見を反映させるよう努めている。 |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の目で見ただけでなく管理者や現場リーダーからも情報を得て職場環境の向上を目指している。</li> <li>・年2回の人事考課(職員面談)を行っている。</li> </ul>                           |  |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の勉強会や外部研修への参加、資格取得に向けての支援を行っている。</li> </ul>  |  |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修や外部勉強会、交流会などで情報交換をしている。</li> </ul>   |  |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |  |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前の面接時に本人、家族より情報収集すると共に、病院や居宅等、関係者との連携を取りサマリーからも情報収集している。</li> </ul>  |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|---|---|--|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の施設見学や、面接時に家族や本人から聴き取りながら、それらに対する説明を行っている。</li> <li>・収集した情報を職員に伝達、共有し、家族との信頼関係作りに努めている。</li> <li>・入居後も家族に様子等を報告し、本人や家族の意向を尊重し、ケアに反映させている。</li> </ul>                      |  |                   |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅や他事業所、病院とも連携し、本人や家族と共にサービスの検討を行っている。</li> </ul>   |  |                   |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と利用者で食事、洗濯、掃除など日常生活の一部を共有している。</li> <li>・利用者の昔ながらの調理方法や野菜作りなどを教わったり、一緒に作ったりする機会を提供している。</li> </ul>  |  |                   |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活上の相談やカンファレンス、家族会、行事などへの参加を得たり、何かあれば協力をお願いしていたが、コロナの影響で自粛している。</li> <li>・面会時には本人の生活状況を伝えている。</li> </ul>  |  |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時に本人との関係性をお尋ねし、友人や近所の方に気軽に来園が行えるよう声掛けしている。(一部、コロナで自粛あり)</li> <li>・ボランティアの受け入れや、近所のドライブや買い物、行事に参加している。</li> <li>・家族の協力にて自宅へ帰ったり、外出や外食に出たり出来るよう支援している。(コロナで自粛傾向)</li> </ul> | 契約の際に利用者の馴染みの場所や人の聞き取りを行い、それ以外の方の急な面会にも可能な限り対応し関係性の継続に務めている。またコロナ禍においても家族との外出先や内容を吟味し、密を避けてもらい可能な限り行えるように支援している。 |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が興味を持てる昔ながらの物をレクリエーションで利用し、全員が参加できるよう工夫している。</li> <li>・施設行事の参加、レクリエーション等での交流を持っている。</li> <li>・職員が利用者の中に入り、共通の話題や活動を提供することで、孤独を防いでいる。</li> </ul> |  |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後も病院や施設などに行ったり、自由に来園して頂けるように環境を作っている。</li> <li>・電話での相談や情報提供を受け付けている。</li> <li>・退居されてからも施設行事の声掛けを行っている。</li> </ul>                                |  |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意向は伝達ノートや会議、勉強会などで情報共有、意識統一を行っている。</li> <li>・コミュニケーションを図りながら個々の好みや癖を掴み、表情を見るなどし、個々の意向の把握に努めている。</li> </ul>                                     | 契約時に意向について本人、家族から聞き取り、日々の支援や会話の中で知り得た新しい情報は伝達ノートや会議等で職員間で共有し支援に反映させている。本人本位を踏まえ、利用者の強みや興味のある事と結びつけ支援に繋がられるように意識している。 |                   |
| 24                                |      | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅、病院、他事業所、新しい情報などは伝達ノートや申し送りなどで共有している。</li> <li>・食事や生活習慣の嗜好チェックを行い、情報を把握している。また、面会時などに家族や親戚、知人から情報を収集し、活用している。</li> </ul>                         |  |                   |
| 25                                |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りにて個々の状態把握を行っている。</li> <li>・毎日のバイタル測定、排泄、入浴の有無、食事量、一日の個々の様子や普段と変わった事はないかなど、ケース記録に残し、情報を把握、共有している。</li> </ul>                                    |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4ヶ月に1回の定期見直しを行うと共に、状態に変化があれば随時見直しを行っている。また8ヶ月に1回、介護計画の全体見直しや、退院後には状態に合わせたプランの作成を行い様子をみている。</li> <li>・ケース担当が状態の変化や今後の見通しを踏まえて、モニタリングを行い、担当職員を中心に話し合いながら計画の原案を作成している。</li> </ul> | <p>計画作成者と各担当職員が中心となり介護計画の見直しや作成を行っている。主治医に医療面や栄養状態を確認したり、法人内の他事業所の専門職に相談し助言をもらったりと、大きな法人の利点を活かし計画を作成している。</p>                     |                   |
| 27   |      | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランの実施チェック表を作成し、毎日実施チェックを行うと共に、ケース記録へ詳細を記録している。また、月末に評価を行っている。それらの記録を基に介護計画の見直しを行っている。</li> </ul>  | /   |                   |
| 28   |      | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・同敷地内の事業所に自由に行き来し、利用者同士の交流が図れるようにしたり、同敷地内の設備は共有していたが、最近ではコロナの影響で出来ていない。</li> <li>・利用者からの要望は可能な限り施設、職員、家族の力を借りて支援している。</li> </ul>  | /   |                   |
| 29   |      | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会行事への参加や地域からのボランティアによる慰問を受けていたが、最近ではコロナの影響で控えている。</li> </ul>   | /   |                   |
| 30   | 11   | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞いている。</li> <li>・体調不良時には主治医に相談し受診している。</li> <li>・週に2回かかりつけ医の往診がある。</li> <li>・他の病院を受診する際には、かかりつけ医からの紹介状により適切に行えるよう支援している。</li> </ul>                       | <p>契約時に主治医の確認を行い、協力医療機関以外の担当医も選択可能としている。協力医療機関の医師は週2回の往診がある。専門医を受診する必要がある場合は家族と協力の元支援を行っている。夜間緊急時にはオンコール体制が整備されており管理者が対応している。</p> |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時に問診票に当日のバイタル測定を記入し、気になることや必要な外用薬を記入している。また、かかりつけ医からもCT検査や採血などの指示もある。</li> <li>・何か異常があれば看護師に相談、主治医等からの指示を仰いでいる。</li> </ul>                          |  |                   |
| 32   |      | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の際には口頭やサマリーをFAXするなどし、各利用者の状態を伝えている。また、病院関係とも連携を図り、入院時の利用者の状態把握に努め、退院後にスムーズに生活が送れるように努めている。</li> <li>・退院期間の相談や調整など、連携を図って家族の意向に沿うよう努めている。</li> </ul> |  |                   |
| 33   | 12   | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時やカンファレンス時に重度化し、終末期を迎えた時の方向性について、家族に説明している。また、重度化や終末期の際には、改めて、本人希望を踏まえたうえで事業所に対処出来ない事もある事を伝え、他施設等に紹介を行っている。</li> </ul>                              | 事業所では現在重度化後の看取り支援は行っていない。契約時に家族や本人にその旨を説明しており実際の重度化になった際には話し合いの場を設け再度家族や本人の意向も確認し、必要に応じて利用者の状態に合った施設を紹介している。             |                   |
| 34   |      | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変や事故発生時のマニュアルを設置し、施設全体で連携を図りながら実践している。また、勉強会で年に数回、急変や事故時の訓練を実施している。</li> </ul>   |  |                   |
| 35   | 13   | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、夜間を想定した避難訓練を地域の方、消防署、家族を含めて定期的実践していたが、コロナで自粛中。</li> <li>・近隣、町内会と防災協定を結んでいる。</li> <li>・災害をテーマに年に数回、勉強会を行っている。</li> </ul>                            | 2つの地域と防災協定を結んでおり、コロナ禍以前は年2回の防災訓練にも参加してもらっていた。現在は併設の3事業所合同で、密を避け避難訓練を行うように工夫している。また、事業所の2階には3日分の災害時備蓄を補充し、2階への避難訓練も行っている。 |                   |



| 自己評価                     | 外部評価 | 項目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                          |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |   |                   |
| 36                       | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人のペース、性格等に配慮しながら声掛けや対応に努めている。</li> <li>外部研修への参加や勉強会を実施し、プライバシー保護について学ぶ機会を設けている。</li> </ul>   | 利用者の呼称はさん付けで統一し、名前で呼んでもらいたい等希望があった場合は可能な限り対応出来るように検討している。その際第三者に聞かれた場合でも全職員が同じ根拠を示せるようにしている。また尊重の視点では利用者が選択可能な場面を食事、入浴等、日々の支援で提供している。 |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で、何を求めているのか把握し、希望や意向を優先的に汲み取り、自己決定が行えるように努めている。</li> </ul>  |   |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人のペースに配慮し、家事、食事や入浴など、基本的な日課を提供し、その人に何が重要なのかを把握し支援している。</li> </ul>  |   |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝、身だしなみや化粧等を行うように声掛けし、外出の際には本人の好きな洋服や季節に合った洋服選び等行っている。また、入浴等で着替える際は、本人に洋服を選んで貰える様に支援している。</li> <li>美容室に行けない方に訪問理美容を事業所で受けられるようにしている。</li> </ul>          |   |                   |
| 40                       | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>裏庭で野菜作りや収穫を行ったり、食事の準備(テーブル拭き)や片付け(食器洗いやトレ拭き)を職員と一緒にしている。</li> <li>献立に合わせた食器の選択、盛り付けや彩り等、食事を楽しんで頂けるよう配慮している。</li> <li>仲の良い利用者同士で食事出来るよう、配慮している。</li> </ul> | 裏庭にある畑で季節の野菜を育てており、利用者と収穫しどんな料理を作るか話をして手作りの一品を添えて提供している。食器は様々な種類があり内容や季節によって選び、見て楽しむ工夫をしている。おやつは手作りであるが、希望を聞き食べたい物を購入し提供している。         |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。            | ・食事は本人の希望や意向を汲み取るように努め、栄養バランスを考慮し提供している。又、栄養の摂取が困難な場合は高カロリーの食品等を提供し、水分の摂取が困難な場合はゼリーやジュース・汁物等で補充している。・利用者個々に水分摂取表を用意し、1日1500ccを目標に水分補給を促している。・食品納入業者の管理栄養士により、バランスのとれた献立が提供出来ている。                        |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                    | ・口腔ケアは毎食後に行い、口腔内が気になる利用者は、職員が介助を行ったり家族や訪問歯科に相談している。・義歯は毎食後洗浄し、週2回は薬剤洗浄を行っている。・本人歯ブラシやコップは毎食後、口腔ケアの道具は週1回消毒洗浄している。・希望される利用者の方には、訪問歯科を事業所で受けるようにしている。   |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。     | ・利用者個々の行動や表情を把握し、排泄の声掛けやトイレ誘導を行っている。・状態の変化があれば、その都度パット類やトイレ誘導の見直しを行っている。  | 現在事業所には紙おむつ使用者はいない。座位姿勢での排泄を基本としており排泄表等で個々の排泄パターンを確認し、状態によりパット等の選定や見直しも定期的に行っている。また水分量も把握しており飲水と排泄のバランスも考慮し状態を観察している。 |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br><br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。                     | ・毎朝ヨーグルトを飲用し、食物繊維の多い食事を提供している。・散歩や体操、身体を使ったレクリエーションを行い、細目に水分を提供している。・排便確認を行い、バイタル表やケース記録に記入する事で、排便の有無の把握に努めている。・入浴時に腹部マッサージや湯たんぽを実施している。・排便がみられない時は腹部マッサージを行い、それでもみられない時は、薬を使用したり医師に相談するなど、必要に応じて行っている。 |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ・決められた時間帯の中ではあるが、利用者個々のタイミング、希望や意向を汲み取り、気持ちよく入浴して頂けるよう支援している。   | 入浴回数は週に2～3回提供し同性介助を基本としている。その時間入浴出来なかった場合は時間変更や翌日に改めたり着替えや清拭等行い対応している。脱衣場に音楽を流したり季節の湯を提供する等リラックス効果を促進出来るよう支援している。     |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中はしっかりと身体を動かし、体調に合わせて昼寝(30分～1時間程度)を勧めている。</li> <li>・入浴等で安眠を促している。</li> </ul>   |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br><br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の薬について、職員間で情報を共有し、新しく処方された薬や変更については伝達ノートに記録して申し送りを行い、服薬後の状態確認を行っている。異常があれば医師や薬剤師に相談している。</li> <li>・薬の準備やチェックを複数の職員で行い、確実に服薬が実施できるようにしている。</li> <li>・週1回、薬剤師による居宅療養管理指導を受けている。</li> </ul> |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、体操やレクリエーションを行っている。</li> <li>・利用者個々に趣味(編み物・花の水やり・折紙等)や掃除(床拭き等)を行うなど役割を持てるよう支援している。</li> <li>・毎月、行事計画を実施している。</li> <li>・食器洗いやテーブル拭き等、簡単な家事作業を行っている。</li> </ul>                             |   |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br><br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日は、職員と一緒に外に出て散歩を行っている。</li> <li>・ドライブなどの外出行事や、家族と日帰り旅行を行うなど外出支援に努めているが、最近ではコロナの影響で控えている。</li> <li>・家族に協力を頂き、外出や帰省・墓参り等の対応をしてもらっている。</li> </ul>   | <p>コロナ禍であっても事業所周辺の散歩や裏庭での畑作業等継続して行い、車内で過ごすドライブ等も行っている。本人や家族の外出希望も個々に対応し、密を避けられる場所等であれば出来る限り外出が出来るように支援している。</p> |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の安心感のために少額を自己管理してもらうことはある。欲しい物の希望を聞き、家族の対応が難しい場合などには職員が代わりに購入し、本人の希望に沿うようにしている。</li> </ul>  |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木1階)  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や大切な人と継続して交流が出来るよう、電話(携帯電話、公衆電話)をかける支援や介助を行っている。またハガキや切手を準備している。手紙を出す時の郵送の介助を行っている。</li> </ul>   |  |                   |
| 52   | 19   | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共有の空間の掃除、必要物品の補充、環境整備を行い過ごしやすい空間を提供している。また、空調も季節ごとに調整を行なっている。</li> <li>・毎月、利用者へ季節感のある作品を作成してもらい、壁面へ飾っている。玄関へ写真の展示など、季節の花や鉢植えを置いている。</li> </ul> | <p>利用者の居室と食堂以外でも少し会話が出来る等の椅子やソファを共有スペースに設置し、壁面には利用者が作成した季節の作品を展示している。空調と明るさはエアコンとカーテンで調整し過ごしやすいようにしている。また鉢植えや花を飾っており季節を感じられるようにしている。</p> |                   |
| 53   |      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングにはソファを配置し、独りになれたり、食事テーブルでは他者と談笑を出来たり、活動をしたりとそれぞれが自由に過ごしている。</li> </ul>   |  |                   |
| 54   | 20   | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には自宅での使い慣れた家具や思い出の品などを持ち入り、本人が居心地よく快適に暮らしやすい環境を作れるように心掛けている。</li> </ul>  | <p>面接時に自宅へ行く際は居室も確認しながら家具の配置を考えている。自宅で使い慣れた物を持ち込んでもらい、写真撮影が趣味だった利用者のカメラやアルバムの持ち込み等個々の趣味や希望にも沿っている。希望に寄っては畳等和室に模様替えすることも可能としている。</p>      |                   |
| 55   |      | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの残存機能を活かす為に職員間でコミュニケーションを取り、利用者個人個人のレベルに合わせ、出来ることはやってもらい、難しいようであれば職員と行う。</li> </ul>   |  |                   |

V アウトカム項目(グループホームげんき馬木1階) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている                | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| 自己評価       | 外部評価 | 項目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------|------|--|--|------|-------------------|
|            |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 |      |  |  |      |                   |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、朝礼で理念の復唱を行い、職員間で共有、再認識する事で実践に繋がっている。</li> <li>・法人や事業所の理念を、玄関や事務所へ掲示している。</li> <li>・個人の一日のケア目標(注意して取り組む事柄)を発表し、実践に繋がっている。</li> </ul>       |      |                   |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に所属し、役員を行ったり、イベント(清掃など)に参加している。</li> <li>・地域の方に事業所でのイベントを案内して参加したりしてもらっていたが、最近ではコロナの影響で自粛している。</li> </ul>                                 |      |                   |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に地域の方にも参加してもらい、認知症についての勉強会や意見交換を行い、また、認知症サポーターの講師としても活動していたが、最近ではコロナの影響で実施出来ていない。</li> </ul>   |      |                   |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事内容や利用状況の報告を行う等、情報の意見交換をし、その時に得た事をその後のサービス改善に活かしていたが、最近ではコロナの影響で集まれない為、意見照会をしている。</li> <li>・過去の会議での話し合いから発展し町内会(2地区)と防災協定を結んでいる。</li> </ul> |      |                   |
| 5          | 4    | ○市町との連携<br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議への参加を呼びかけたり、市政出前講座を活用し講師を招いて講習会を行うなどしていたが、最近ではコロナの影響で中止。</li> <li>・運営で不明な点や必要な内容があれば、市の指導係と連携を取り対応している。</li> </ul>                     |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、天気の良い日は玄関を開放している。</li> <li>・門扉は日中、常時開放している。</li> <li>・定期的な勉強会、外部研修等で正しい情報の共有を行っている。</li> </ul>   |      |                   |
| 7    |      | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待、拘束防止委員会を3ヶ月に1回実施し、職員間で情報を共有する事で防止に努めている。</li> <li>・定期的な勉強会を実施し、情報の共有をしている。</li> <li>・外部研修に参加している。</li> <li>・利用者への声かけや対応等が適切ではない場合には、虐待になる可能性がないか話し合い対応の改善を促す。</li> </ul> |      |                   |
| 8    |      | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会や申し送り等で情報の共有をしている。</li> <li>・必要な利用者には成年後見制度を紹介し、それに関わる担当者との連絡調整を行っている。</li> </ul>  |      |                   |
| 9    |      | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約書を基に丁寧に説明を行い、項目毎に質問や疑問点が無いかなど、理解して頂いているか確認するよう心がけている。</li> <li>・制度の改定時は案内を出し、不明点は問い合わせをしていただけるよう配慮している。</li> </ul>  |      |                   |
| 10   | 6    | <b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回運営推進会議を行っていたが、コロナの影響で自粛している。</li> <li>・年1回、家族会総会でのアンケートや意見交換の場を設け、面会時や4ヶ月毎のカンファレンス等、意見があれば会議等で話し合いの場を設けていたが、最近ではコロナの影響で控えており、電話連絡等で対応している。</li> </ul>                 |      |                   |



| 自己評価                        | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                             |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | ・事前に提案、議題があれば月1回の職員会議で議題にして話し合い、運営や業務に反映させている。<br>・大きな議題提案等については、毎月実施している法人のエリア会議の中で管理者が情報を発信している。 |      |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | ・自身の目で見ただけでなく管理者や現場リーダーからも情報を得て職場環境の向上を目指している。<br>・年2回の人事考課(職員面談)を行っている。                           |      |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | ・毎月の勉強会や外部研修への参加、資格取得に向けての支援を行っている。  |      |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | ・外部研修や外部勉強会、交流会などで情報交換をしている。   |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。        | ・入居前の面接時に本人、家族より情報収集すると共に、病院や居宅等、関係者との連携を取りサマリーからも情報収集している。  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の施設見学や、面接時に家族や本人から聴き取りながら、それらに対する説明を行っている。</li> <li>・収集した情報を職員に伝達、共有し、家族との信頼関係作りに努めている。</li> <li>・入居後も家族に様子等を報告し、本人や家族の意向を尊重し、ケアに反映させている。</li> </ul>                      |      |                   |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅や他事業所、病院とも連携し、本人や家族と共にサービスの検討を行っている。</li> </ul>   |      |                   |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と利用者で食事、洗濯、掃除など日常生活の一部を共有している。</li> <li>・利用者の昔ながらの調理方法や野菜作りなどを教わったり、一緒に作ったりする機会を提供している。</li> </ul>  |      |                   |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活上の相談やカンファレンス、家族会、行事などへの参加を得たり、何かあれば協力をお願いしていたが、コロナの影響で自粛している。</li> <li>・面会時には本人の生活状況を伝えている。</li> </ul>  |      |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時に本人との関係性をお尋ねし、友人や近所の方に気軽に来園が行えるよう声掛けしている。(一部、コロナで自粛あり)</li> <li>・ボランティアの受け入れや、近所のドライブや買い物、行事に参加している。</li> <li>・家族の協力にて自宅へ帰ったり、外出や外食に出たり出来るよう支援している。(コロナで自粛傾向)</li> </ul> |      |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が興味を持てる昔ながらの物をレクリエーションで利用し、全員が参加できるよう工夫している。</li> <li>・施設行事の参加、レクリエーション等での交流を持っている。</li> <li>・職員が利用者の中に入り、共通の話題や活動を提供することで、孤独を防いでいる。</li> </ul> |      |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後も病院や施設などに行ったり、自由に来園して頂けるように環境を作っている。</li> <li>・電話での相談や情報提供を受け付けている。</li> <li>・退居されてからも施設行事の声掛けを行っている。</li> </ul>                                |      |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意向は伝達ノートや会議、勉強会などで情報共有、意識統一を行っている。</li> <li>・コミュニケーションを図りながら個々の好みや癖を掴み、表情を見るなどし、個々の意向の把握に努めている。</li> </ul>                                     |      |                   |
| 24                                |      | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅、病院、他事業所、新しい情報などは伝達ノートや申し送りなどで共有している。</li> <li>・食事や生活習慣の嗜好チェックを行い、情報を把握している。また、面会時などに家族や親戚、知人から情報を収集し、活用している。</li> </ul>                         |      |                   |
| 25                                |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りにて個々の状態把握を行っている。</li> <li>・毎日のバイタル測定、排泄、入浴の有無、食事量、一日の個々の様子や普段と変わった事はないかなど、ケース記録に残し、情報を把握、共有している。</li> </ul>                                    |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ・4ヶ月に1回の定期見直しを行うと共に、状態に変化があれば随時見直しを行っている。また8ヶ月に1回、介護計画の全体見直しや、退院後には状態に合わせたプランの作成を行い様子をみている。<br>・ケース担当が状態の変化や今後の見通しを踏まえて、モニタリングを行い、担当職員を中心に話し合いながら計画の原案を作成している。 |      |                   |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | ・ケアプランの実施チェック表を作成し、毎日実施チェックを行うと共に、ケース記録へ詳細を記録している。また、月末に評価を行っている。それらの記録を基に介護計画の見直しを行っている。  |      |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br><br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | ・同敷地内の事業所に自由に行き来し、利用者同士の交流が図れるようにしたり、同敷地内の設備は共有したりしていたが、最近ではコロナの影響で出来ていない。<br>・利用者からの要望は可能な限り施設、職員、家族の力を借りて支援している。   |      |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br><br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                         | ・町内会行事への参加や地域からのボランティアによる慰問を受けていたが、最近ではコロナの影響で控えている。   |      |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                     | ・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞いている。<br>・体調不良時には主治医に相談し受診している。<br>・週に2回かかりつけ医の往診がある。<br>・他の病院を受診する際には、かかりつけ医からの紹介状により適切に行えるよう支援している。                                   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時に問診票に当日のバイタル測定を記入し、気になることや必要な外用薬を記入している。また、かかりつけ医からもCT検査や採血などの指示もある。</li> <li>・何か異常があれば看護師に相談、主治医等からの指示を仰いでいる。</li> </ul>                          |      |                   |
| 32   |      | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の際には口頭やサマリーをFAXするなどし、各利用者の状態を伝えている。また、病院関係とも連携を図り、入院時の利用者の状態把握に努め、退院後にスムーズに生活が送れるように努めている。</li> <li>・退院期間の相談や調整など、連携を図って家族の意向に沿うよう努めている。</li> </ul> |      |                   |
| 33   | 12   | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時やカンファレンス時に重度化し、終末期を迎えた時の方向性について、家族に説明している。また、重度化や終末期の際には、改めて、本人希望を踏まえうえで事業所に対応出来ない事もある事を伝え、他施設等に紹介を行っている。</li> </ul>                               |      |                   |
| 34   |      | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変や事故発生時のマニュアルを設置し、施設全体で連携を図りながら実践している。また、勉強会で年に数回、急変や事故時の訓練を実施している。</li> </ul>   |      |                   |
| 35   | 13   | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、夜間を想定した避難訓練を地域の方、消防署、家族を含めて定期的実践していたが、コロナで自粛中。</li> <li>・近隣、町内会と防災協定を結んでいる。</li> <li>・災害をテーマに年に数回、勉強会を行っている。</li> </ul>                            |      |                   |

| 自己評価                     | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                          |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |  |   |      |                   |
| 36                       | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のペース、性格等に配慮しながら声掛けや対応に努めている。</li> <li>・外部研修への参加や勉強会を実施し、プライバシー保護について学ぶ機会を設けている。</li> </ul>  |      |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、何を求めているのか把握し、希望や意向を優先的に汲み取り、自己決定が行えるように努めている。</li> </ul>  |      |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のペースに配慮し、家事、食事や入浴など、基本的な日課を提供し、その人に何が重要なのかを把握し支援している。</li> </ul>  |      |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、身だしなみや化粧等を行うように声掛けし、外出の際には本人の好きな洋服や季節に合った洋服選び等行っている。また、入浴等では着替える際は、本人に洋服を選んで貰える様に支援している。</li> <li>・美容室に行けない方に訪問理美容を事業所で受けられるようにしている。</li> </ul>            |      |                   |
| 40                       | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏庭で野菜作りや収穫を行ったり、食事の準備(テーブル拭き)や片付け(食器洗いやトレイ拭き)を職員と一緒にしている。</li> <li>・献立に合わせた食器の選択、盛り付けや彩り等、食事を楽しんで頂けるよう配慮している。</li> <li>・仲の良い利用者同士で食事が出来るよう、配慮している。</li> </ul> |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は本人の希望や意向を汲み取るように努め、栄養バランスを考慮し提供している。又、栄養の摂取が困難な場合は高カロリーの食品等を提供し、水分の摂取が困難な場合はゼリーやジュース・汁物等で補充している。</li> <li>・利用者個々に水分摂取表を用意し、1日1500ccを目標に水分補給を促している。</li> <li>・食品納入業者の管理栄養士により、バランスのとれた献立が提供出来ている。</li> </ul>  |      |                   |
| 42   |      | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアは毎食後に行い、口腔内が気になる利用者は、職員が介助を行ったり家族や訪問歯科に相談している。</li> <li>・義歯は毎食後洗浄し、週2回は薬剤洗浄を行っている。</li> <li>・本人歯ブラシやコップは毎食後、口腔ケアの道具は週1回消毒洗浄している。</li> <li>・希望される利用者の方には、訪問歯科を事業所で受けるようにしている。</li> </ul>   |      |                   |
| 43   | 16   | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々の行動や表情を把握し、排泄の声掛けやトイレ誘導を行っている。</li> <li>・状態の変化があれば、その都度パット類やトイレ誘導の見直しを行っている。</li> </ul>  |      |                   |
| 44   |      | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝ヨーグルトを飲用し、食物繊維の多い食事を提供している。</li> <li>・散歩や体操、身体を使ったレクリエーションを行い、細目に水分を提供している。</li> <li>・排便確認を行い、バイタル表やケース記録に記入する事で、排便の有無の把握に努めている。</li> <li>・入浴時に腹部マッサージや湯たんぽを実施している。</li> <li>・排便がみられない時は腹部マッサージを行い、それでもみられない時は、薬を使用したり医師に相談するなど、必要に応じて行っている。</li> </ul> |      |                   |
| 45   | 17   | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間帯の中ではあるが、利用者個々のタイミング、希望や意向を汲み取り、気持ちよく入浴して頂けるよう支援している。</li> </ul>   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々<br/>の状況に応じて、休息したり、安<br/>心して気持ちよく眠れるよう支<br/>援している。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中はしっかりと身体を動かし、体調に合わせて昼寝（30分～1時間程度）を勧めている。</li> <li>・入浴等で安眠を促している。</li> </ul>   |      |                   |
| 47   |      | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的<br/>や副作用、用法や用量について理<br/>解しており、服薬の支援と症状の<br/>変化の確認に努めている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の薬について、職員間で情報を共有し、新しく処方された薬や変更については伝達ノートに記録して申し送りを行い、服薬後の状態確認を行っている。異常があれば医師や薬剤師に相談している。</li> <li>・薬の準備やチェックを複数の職員で行い、確実に服薬が実施できるようにしている。</li> <li>・週1回、薬剤師による居宅療養管理指導を受けている。</li> </ul> |      |                   |
| 48   |      | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご<br/>せるように、一人ひとりの生活歴<br/>や力を活かした役割、嗜好品、楽<br/>しみごと、気分転換等の支援をし<br/>ている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、体操やレクリエーションを行っている。</li> <li>・利用者個々に趣味（編み物・花の水やり・折紙等）や掃除（床拭き等）を行うなど役割を持てるよう支援している。</li> <li>・毎月、行事計画を実施している。</li> <li>・食器洗いやテーブル拭き等、簡単な家事作業を行っている。</li> </ul>                             |      |                   |
| 49   | 18   | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ<br/>て、戸外に出かけられるよう支<br/>援に努めている。また、普段は行<br/>けないような場所でも、本人の希<br/>望を把握し、家族や地域の人々と<br/>協力しながら出かけられるよう<br/>に支援している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日は、職員と一緒に外に出て散歩を行っている。</li> <li>・ドライブなどの外出行事や、家族と日帰り旅行を行うなど外出支援に努めているが、最近ではコロナの影響で控えている。</li> <li>・家族に協力を頂き、外出や帰省・墓参り等の対応をしてもらっている。</li> </ul>   |      |                   |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの<br/>大切さを理解しており、一人ひと<br/>りの希望や力に応じて、お金を<br/>所持したり使えるように支援し<br/>ている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の安心感のために少額を自己管理してもらうことはある。欲しい物の希望を聞き、家族の対応が難しい場合には職員が代わりに購入し、本人の希望に沿うようにしている。</li> </ul>  |      |                   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(グループホームげんき馬木2階)   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | ・家族や大切な人と継続して交流が出来るよう、電話(携帯電話、公衆電話)をかける支援や介助を行っている。またハガキや切手を準備している。手紙を出す時の郵送の介助を行っている。   |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地の良い共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ・共有の空間の掃除、必要物品の補充、環境整備を行い過ごしやすい空間を提供している。また、空調も季節ごとに調整を行なっている。<br>・毎月、利用者へ季節感のある作品を作成してもらい、壁面へ飾っている。玄関へ写真の展示など、季節の花や鉢植えを置いている。 |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | ・リビングにはソファを配置し、独りになれたり、食事テーブルでは他者と談笑が出来たり、活動をしたりとそれぞれが自由に過ごしている。   |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | ・居室には自宅での使い慣れた家具や思い出の品などを持ち入り、本人が居心地よく快適に暮らしやすい環境を作るように心掛けている。   |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。  | ・一人ひとりの残存機能を活かす為に職員間でコミュニケーションを取り、利用者個人個人のレベルに合わせ、出来ることはやってもらい、難しいようであれば職員と行う。   |      |                   |

V アウトカム項目(グループホームげんき馬木2階) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                          | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている                | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホームげんき馬木

作成日 令和3年 9月 17日

### 【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号  | 現状における問題点, 課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間   |
|------|-------|--|---|---|--------------|
| 1    | 10    | 家族アンケートの、介護計画を分かりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いをしているかという問いに、説明も話し合いもないとの回答が1件あったこと。                          | 現在、コロナ対策として、ご家族様への介護計画の説明は電話で行っている為、その際は十分、分かりやすく説明し、同意を得る。 | <ul style="list-style-type: none"><li>・電話をかけた際は、介護計画の説明であることをきちんと伝える。</li><li>・現状を報告後、こちらの意見を伝えるが、あくまでもご本人、ご家族様の意向に沿って介護計画を立てる旨を伝え、意見を伺う。</li><li>・最終的に、家族の同意をきちんと確認する。</li></ul> | 4ヵ月 (10月～1月) |
| 2    | 16・19 | 家族アンケートの、困っている事、不安、求めている事などの話をよく聞いてくれるかという問いに、あまり聞いてくれないとの回答が1件あったこと。<br>今のサービスに少し不満があるとの回答も1件あった。 | 少しでも不安や不満を解消する。   | <ul style="list-style-type: none"><li>・電話連絡だけでなく、ラインなども活用し、日々の様子を伝える。</li></ul>   | 6ヶ月 (10月～3月) |
| 3    |       |  |   |   |              |
| 4    |       |  |   |   |              |
| 5    |       |  |   |   |              |
| 6    |       |  |   |   |              |
| 7    |       |  |   |   |              |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。